



## Q ドル円相場の短期的な需給は？（2017年7月）

**A** 米シカゴ・マーカントイル取引所のドル円の先物ポジションが参考になります。現在の円売りポジションは比較的高水準です。このポジションが解消されると、短期的には円安の抑制要因となりそうです。

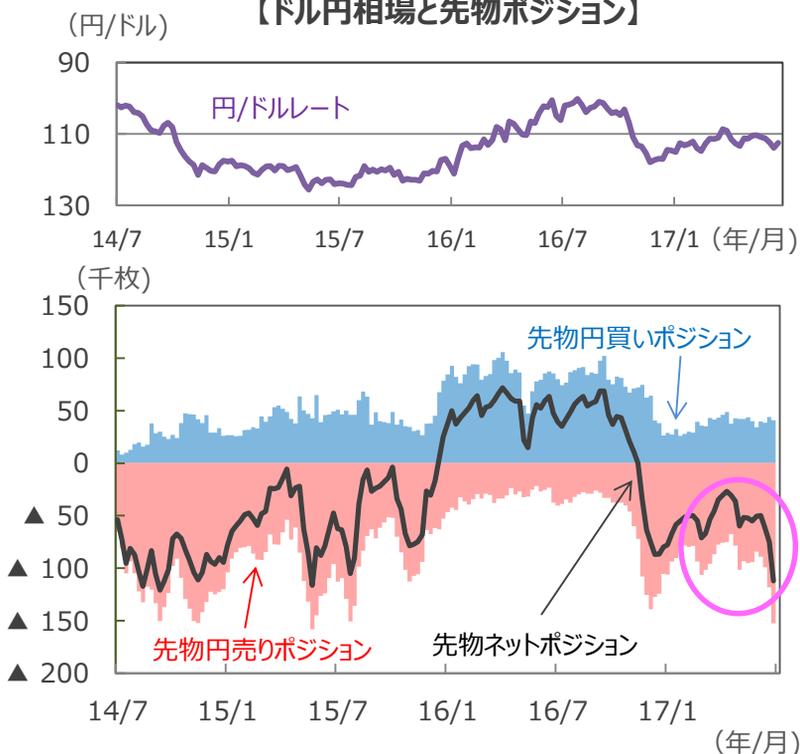
- 先物取引所として有名なアメリカのシカゴ・マーカントイル取引所は、取引されている通貨先物の契約数量を毎週発表しています。この数値はヘッジファンドなどの投機的なポジションを推し量る材料として多くの市場参加者が参考にしています。

直近のデータは7月11日時点のものですが、これによると、現在のドル円の先物ポジションは、過去と比べて高水準の円の売り建てとなっています。投機的な投資家のドル円相場に対する見方が、ドル高円安に傾いていると考えられます。

- こういったポジションの偏りは、米金融政策の正常化、すなわち、利上げや中央銀行のバランスシート縮小が進むと見られる一方、日銀の金融緩和は今後も継続するとの見方等が強く反映したものだと考えられます。

ポジション調整が起これば、円高要因となると考えられますが、日米の金融政策の違いが解消されることは当面考えにくいと、短期的な動きに止まると考えられます。

【ドル円相場と先物ポジション】



(注) 先物円買いポジションはシカゴ・マーカントイル取引所でのNon-Commercialの先物買建て枚数、同円売りポジションは同売建て枚数、ネットはそれらの差。データお週次で期間は2014年7月22日～2017年7月11日。円/ドルレートお逆目盛り。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成